

地球システム科学は限りある地球を有効に利用して人類の持続的発展を達成させるために必要不可欠な学問分野なので、関連科学技術の推進は各方面から強く要請されており、喫緊に解決せねばならない問題も多い。

当研究所は、関連科学技術のうち、特に、資源・エネルギー開発、社会基盤整備、地下水、防災、環境保全などの分野に重点をおき、研究開発と研究成果の実際への有効利用を速やかに推進するために、以下の公益的3事業、すなわち；

- 1) 当研究所独自の課題について研究開発を行い、その成果を公表して科学技術の発展に寄与する自主研究事業
- 2) 学会や産業界からの要請に応じて関連科学技術に関する課題の研究開発及び技術開発・学術調査を行う研究等受託事業
- 3) 研究成果の啓蒙・普及および技術者・研究者の育成のために、研究会、講演会、セミナー、講習会等を開催する研究会等開催事業

を過去10年間以上に亘り積極的に実施し、多くの有益な成果を挙げ、我が国の科学技術の発展に貢献してきた。

平成23年度も今迄の実績を踏まえ、従来から実施している上記の3事業を更に推進させ、関連科学技術の発展に寄与する予定である。

当研究所の運営に関しては、平成20年12月1日に施行された公益法人制度改革関連三法で規定された新制度の一般財団法人への移行認可申請書の平成23年度内提出を目指して、移行申請に必要な新法人の定款などの各種書類の作成や最初の評議員の選出などを行い、定例理事会を2回、定例評議員会を1回開催して当研究所の運営に関して検討を深める。

事業に関しては、既存の各部門研究会の研究・調査活動を更に推進させると共に、新しく「不連続岩盤研究会」を設置し、部門研究会活動の活性化によって、調査・研究等の受託による収入の増加を促進する。更に、今までに実施した研究会・講演会等の開催実績を踏まえ、要望が多くその成果が期待できる課題に重点を置いて、研究会、講演会、講習会を開催するとともに、国際ワークショップや国際セミナー等の共催及び運営なども行なう。

なお、ホームページ (<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/geosys/>) を更に充実させ、当研究所の活動状況及び成果の周知及び普及を進める。

以上